

## 第 14 回 IPPNW 世界大会プログラム

6月28日～29日：医学生大会開催

後援：フランス青少年・スポーツ大臣 Mrs.Marie-George Buffet

大会会場：Centre international de sejour de Paris,17 Boulevard Kellermann,75013

### 6月28日(水)

09.00 - 12.00 および 14.00 - 18.00：役員会議

18.00 - 19.00：登録

### 6月29日(木)

08.30 - 11.45 および 14.00 - 18.00：IPPNW 国際会議

12.00：戦争ならびに全ての戦争の防止に向けてのデモ

15.00 - 19.00：登録

19.00 - 20.00：歓迎パーティー

### 6月30日(金)

08.00 - 09.00：登録

09.00 - 10.30：本会議開会

議長：Dr.Abraham Behar

・フランス政府を代表して、環境大臣 Mrs.DominiqueVoynet

・フランス大司教 Jean-Marie Lustiger 枢機卿

・パリ市長代理 Mrs.Marie-Therese Hermnge

・カナダ外務大臣 M.Lloyd Axworthy

・フランス元首相 M.MicheI Rocard：「最小限抑止--新たな戦略」

・フランス・プロテスタント連合代表 Jean Arnold de Clermont 牧師

・国際反核法律家協会(IALANA)M. Peter Weiss：ニュー・アジェンダ連合(NAC)  
および中堅国家イニシアチブの概要紹介

・国際平和ビューロー（IPB）代表 Mrs.Maj Britt Theorin：平和の文化

11.00 - 12.30

各作業部会の目的：今後2年間の行動計画を決定すること

参加者(20～35名以下)は事前に希望する作業部会に登録し、電子メールセッションの準備を始めることが必要となる。

作業部会 テーマ：核兵器廃絶

進行役：Gunnar Westberg(スウェーデン)、Merav Datan

(IPPNW プログラム・ディレクター、アメリカ)

作業部会 テーマ：戦争防止

進行役：Victor Sidel(アメリカ)、Ulrich Gottstein(ドイツ)

作業部会 テーマ：新宣伝タスクフォース IPPNWの活動をより効果的にPRするために

進行役：John Pastore(アメリカ)、Andi Niedecker(スイス)

### ワークショップ・セッション I

W1a：中央アメリカの平和と健康問題(サンサルバドル)

W1b：核兵器国家の首都における意思決定者と IPPNW の年次対話セミナー

今後の展望(イギリス、スウェーデン)

- W1c : 北アジアの核問題 IPNW の役割(日本)  
 W1d : 子供たちと戦争 社会的暴力と結びついた苦痛(Elizabeth Jareg、ノルウェー)  
 W1e : 世界経済と、公衆衛生への影響(キューバ)  
 W1f : トータル・マーケット時代における紛争の根本的原因(ドイツ)  
 W1g : 債務、構造調整、および健康問題(世界安全保障のための医療活動(Medact)、イギリス)  
 W1h : 軍備競争と紛争の経済的影響(ロシア)

13.3-15.00 : ワークショップ・セッション 2

- W2a : 核兵器のない未来に向けての平和教育 ライフリンク・フレンドシップ・スクールズ  
 「キャンペーン 2000 + 自分を愛し、他者を愛し、自然を愛し、そして参加しよう」  
 (Hans Lavender、スウェーデン)

- W2b : 偶発的核戦争と警戒解除(アメリカ)  
 W2c : 小火器(カナダ)  
 W2d : 国境を超えた資本主義と倫理問題(イギリス)  
 W2e : 地雷 現在の問題点は何か(オーストラリア)  
 W2f : (未定)  
 W2g : 核兵器廃絶を目指すハーグ平和アピールの今後(Herman Spanjaard、オランダ)  
 W2h : ユーゴ紛争から我々は何を学ぶか(ドイツ、セルビア、日本、およびイギリス)

15.30 - 17.00 : ワークショップ・セッション 3

- W3a : 中東における大量破壊兵器の今後(イスラエルおよび中東諸国)  
 W3b : 10 年間に及ぶ対イラク経済制裁の結果(Sponeck、ドイツ、アメリカ)  
 W3c : 北アフリカの内戦とテロリズム 健康への影響(フランス)  
 W3d : 南アジアにおける紛争解決(インド、パキスタン、バングラデシュ)  
 W3e : アフリカの軍 戦略的目的(Paul Saoke、ケニアおよびノルウェー)  
 W3f : 広島および長崎の医学生による発表(日本)  
 W3g : 核兵器自由地 ヨーロッパとアジアの新たな領域(スイス)  
 W3h : 医学教育過程における平和教育。大量破壊兵器と人権侵害が健康に及ぼす影響  
 (Pr.Fernando H.Lopez da Silva、オランダ)

17.30 - 18.30 : 3つのフォーラム

フォーラム 1 テーマ : 「最小限抑止」のコンセプトと南アジアの核問題  
 - 拡散か廃絶か(マレーシア、インド、パキスタン)

議長 : Ronltd McCoy

進行役 : Shambu Shrivastwa、Tipu Sultan、Kamrul Hasan Khan

フォーラム 2 テーマ : 戦争防止

議長 : Mary-Wynne Ashford

進行 : Ulrich Gottstein、Henri Firket、Joanna Santa Barbara

フォーラム 3 テーマ : 核兵器と結びついた原子力

議長 : Andi Niedecker

進行役 : David Rush、Monique Sene

18.30 - 20.00 : IPPNW 設立 20 周年記念レセプション

21.00：公開イベント 「バッハと後世の人々」  
バッハの没後 250 周年を記念するとともに、アルベール・シュヴァイツァー博士に敬意を  
捧げるためのコンサート。  
オルガン奏者：Eric Lebrun 聖歌隊：Saint Francois-Xavier 教会の  
「Ensemble vocal Michel Piquemal」

7月1日(土)

科学的セッション

セッション

09.00 - 10.30：A IPNW 任務のための医学的予防における新手法から学ぶ

議長兼講演者：Bernard Pissarro 教授(フランス)

進行役：Ian Maddocks 教授(オーストラリア)

- ・ 予防に関する新しいコンセプトの紹介(B.Pissarro、フランス)
- ・ 禁煙による予防(G.Lagrue、フランス)
- ・ 住民参加に関する新しいコンセプト 「衛生的民主主義」に向けて  
(F. Blanchard、フランス)
- ・ 互いに支え合う環境作り オタワ憲章再考(J.P.Deschamps、フランス)

11.00 - 12.30：B 核分裂性物質とその医学的影響

議長：Christian Chenal 教授(フランス)

進行役兼講演者：Michael Clark(イギリス)

- ・ 劣化ウランの放射線医学的・化学的危険性(M.J.Clark、イギリス)
- ・ ネプツニウムとアメリシウムの放射性毒性に関する比較研究(E Paquet、フランス)
- ・ ラドンの放射性毒性とその結果に関する主要な関与の問題(G.Monchoux、フランス)
- ・ プルトニウムの放射性毒性(H.Metivier、フランス)
- ・ イギリスの核実験への関与が健康に及ぼす長期的影響(S.Rabitt Roff、イギリス)
- ・ 放射線による細胞死の分子メカニズム(E.Solary、フランス)

ポスター・セッション：10.30 - 11.00

放射線生物学と政治に関する講習(K.Johnsrud、K.Osen、ノルウェー)

セッション

09.00 - 10.30：A 紛争の前兆をモニターする

議長兼講演者：Johan Galtung 教授(ノルウェー)

進行役：Peter Weiss 教授(アメリカ)

- ・ 人権侵害監視機関(A.Bernard、フランス)
- ・ 世界貿易機関(WTO)と人権侵害(A.M.Habbarad、フランス)
- ・ 90年代の戦争の原因(H.Firket、ベルギー)

11.00 - 12.30：B 新型核兵器および非核兵器

議長兼講演者：Otfried Nassauer(ドイツ)

進行役 Ira Helfand 医学博士(アメリカ)

- ・ 軍事技術革命(O.Nassauer)
- ・ 非致命的兵器 新たな軍備競争(L.Monpaey、ベルギー)

- ・ レーザー・メガジュール施設による、第4世代核兵器用の慣性閉じ込め  
核融合技術 夢か現実か(F.Piquemal、フランス)
- ・ リヴァーモア(アメリカ)の国立点火施設(P. Gould、アメリカ)

13.30 - 15.00 : 地域別ミーティング

15.00 - 17.00 :

作業部会 : 核兵器廃絶

作業部会 : 戦争防止

作業部会 : 新しい宣伝タスクフォース IPPNW の活動をより効果的に PR するために

#### ワークショップ・セッション 4

W4a : アメリカ弾道ミサイル防衛網配備の国際的影響

(アメリカ、ロシア、イギリス、デンマーク)

W4b : ヨーロッパの安全保障 欧州安保協力機構(OSCE)の役割(スイス)

W4c : 化学兵器と生物兵器(オーストラリア、日本)

W4d : インターネットと出版物 『Medicine, Conflict and Survival』誌(イギリス)

およびその他の IPPNW 医学雑誌 (アメリカ)

W4e : IPPNW と、国際反核法律家協会、国際平和ビューロー、

およびハーグ平和アピール・ネットワークとの関係(Herman Spanjaard、オランダ)

W4f : チェルノブイリの大惨事の影響(ドイツ)

W4g : 学生フォーラム

W4h : 難民と政治亡命(フィリピン、ドイツ)

17.00 : フリータイム

#### 7月2日(日)

##### 本会議閉会セッション

09.00 - 10.00 : 作業部会の結論

議長 : Michael Christ(IPPNW エグゼクティブ・ディレクター)

10.00 - 11.00 : Ron McCoy(IPPNW 共同代表、マレーシア)、Sergel Gratchev(IPPNW 共同代表、ロシア)、Ian Maddocks(IPPNW 評議会議長、オーストラリア)による結論

11.00 - 12.00 : 本会議閉会

a)新しいミレニアムの幕開けに当たっての IPPNW の戦略

(Mary-Wynne Ashford、IPPNW 共同代表、カナダ)

b)IPPNW 学生の戦略(学生代表)

12.00 - 12.15 : 大会閉会 Abraham Behar(大会代表、IPPNW 副代表)